

# DRYSPOT STAPHYTECT PLUS

## ドライスポット スタフィテクトプラス



### 特徴

#### ● 判定のし易さ

白い反応スライド上の青色ラテックス凝集反応はコントラストがよく結果の判定が容易です。

#### ● 正確性

コアグラゼ、プロテインA、細胞壁上ポリサッカライドに特異的な試薬を用いることにより、広範囲の黄色ブドウ球菌が検出できます。

#### ● 迅速性

たった20秒で結果が得られます。

#### ● 安定性

乾燥固着試薬を用いることにより、室温で2年間安定です。

#### ● 簡便性

ディスポーザブルの反応スライドは安全で使いやすくなっています。

製品コード	製品名	包装単位
717511-1	ドライスポット スタフィテクトプラス	120回



Kanto Kagaku

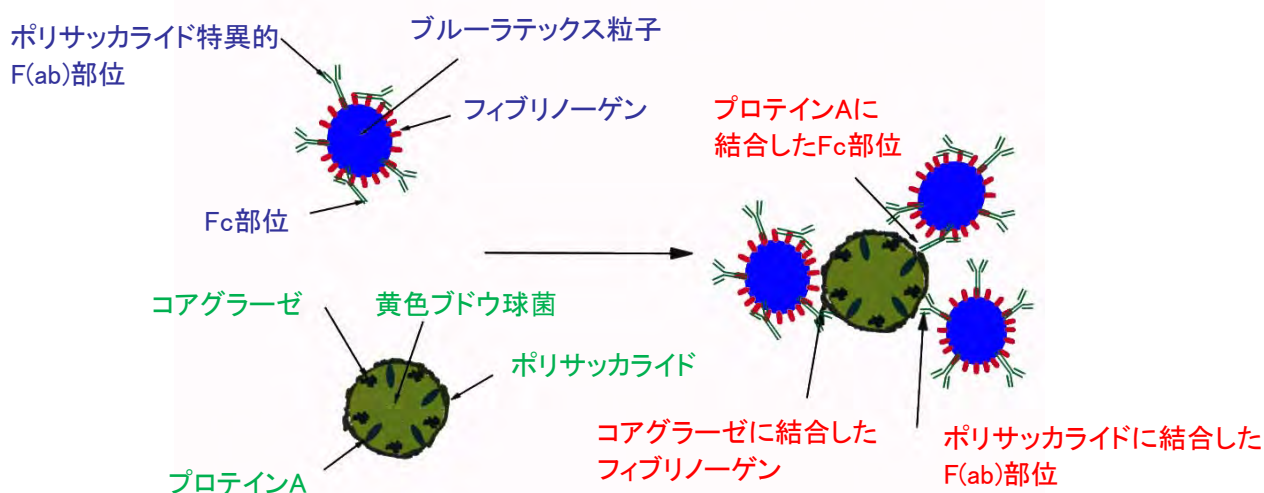
## ドライスポット スタフィテクトプラスについて

本キットは、医学、食品、環境検査において重要な黄色ブドウ球菌(MRSAを含む)の検出用キットです。検出原理はブドウ球菌のもつクラumpingファクター(結合コアグララーゼ)、プロテインAと細胞壁上のポリサッカライドを検出するラテックス凝集反応を用いています。

- ①ヒト由来の黄色ブドウ球菌は、約97%が結合型コアグララーゼと遊離型コアグララーゼとを産生します。
- ②ヒト由来の黄色ブドウ球菌は、約95%がプロテインAという蛋白質を持っています。これは、免疫グロブリンのFc部分と非特異的に結合します。
- ③病院等で問題となっているMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)は、コアグララーゼやプロテインAをポリサッカライドが覆っており、従来のプロテインAやコアグララーゼを利用した試薬では検出が困難な場合があります。

本キットは、ラテックスを標識としたフィブリノーゲン、ウサギIgGと黄色ブドウ球菌膜上のポリサッカライドに特異的に結合するポリクローナル抗体を用い、これらマーカー(コアグララーゼ、プロテインA、外膜ポリサッカライド)を検出します。

### 凝集反応原理図



### 操作方法

1. パックから反応スライドを取り出す



2. 生理食塩水を滴下



3. 培地から疑わしいコロニーを釣菌



4. コロニーを生理食塩水と混和



5. 浮遊菌液とラテックス試薬とを混和



6. 20秒間やさしく回転させ判定



 関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL: 03-6214-1090

HP: <https://www.kanto.co.jp>

M-040 (202101)